

〈令和元年度事業報告〉

1. 採卵経営をめぐる情勢

令和元年度の鶏卵相場は、平成30年度初市の100円相場の影響を引きずったまま新年度の幕が開けた。上半期（4～9月）の東京市場のM卵月平均の最高値が179円（9月）となり、養鶏不況と言われた平成30年度を4月から9月全ての月で下回る結果となった。

10月になって卵価が上昇したのは事実であるが、台風15号及び台風19号により被災地で養鶏産業も大きな被害を受けたことが大きいと考えられる。この災害に対しては、弊会でも被災地の会員に向けた被害状況の調査や一部会員の農場を事務局で視察し状況を確認し、被災地の弊会会員を代表して被災県の副会長と事務局で農林水産省に「台風15号等の被害に関する緊急要請」を提出し、支援を要請した。被害を受けた養鶏家の心中は察するに余りある。

その後、卵価は上昇し初値も160円となんとか踏みとどまり、卵価も上がることはあっても下がることはないと考えられていた。

しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、飲食店等の営業自粛が求められ業務用卵の需要が激減した。スーパーなどの小売り関係は3月末時点では好調を維持していたが、いつ新型コロナウイルス感染症が終息するかも分からず先行きは不透明な状況である。

鶏卵生産費の最大科目である飼料費は全農発表の配合飼料価格（全国・全畜種平均）でみると、4期目（1～3月期）は値上がりしたものの、あとの3期は値下がりし、通算ではトン1,200円の下げになった。しかし、国の推進する「働き方改革」などの影響も大きく、運賃や人件費などの諸経費もアップし、鶏卵相場の低迷の中で苦しい経営を強いられた。とりわけ、中小経営は高い飼料費の負担が大きく、本会が年4回実施している飼料実態調査でも小規模経営の飼料購入費はトン当たり1万円以上のハンディキャップを背負わされている。

人件費の高騰とともに労働力不足の深刻な問題で、外国人労働者対策や新規就農者対策も含む労務管理の見直し・改善などにも着目することが必要になった。

近年、養鶏生産者にとって最も脅威になっている高病性鳥インフルエンザの発生は平成30年1月に香川のブロイラー農場での発生後、幸いにも未発生になっているが、育成期のワクチネーションや鶏病一般の衛生対策は鶏卵の安全性や生産効率を落とさないためにもより重要になっている。

令和元年度を総括すると、経営個々で解決できない問題に対し、組織的な活動

力を高めることとともに、鶏卵相場低迷からの経営防衛をはかり、働き方改革などによる変化に対応するため、他産業に負けない労働環境を整備することに取り組んだ。また、今後は新型コロナウイルス感染症対策等の新たに発生した諸問題への対処が必要になり、経営力を総合的に高めることが非常に重要になっている。そうした情勢を踏まえ、令和元年度に展開した諸活動は以下のとおりである。

1) 第52回通常総会

日 時：令和元年6月26日(水)

場 所：A P浜松町Cルーム

参加者：43名(意見交換会、飼料セミナー：49名)

議 事：

第1号議案 平成30年度事業報告に関する件

第2号議案 平成30年度収支決算および監査報告に関する件

第3号議案 令和元年度事業計画に関する件

第4号議案 令和元年度収支予算および会費の徴収に関する件

2) 役員会・正副会長会議

(1) 第1回正副会長会議

日 時：令和元年5月7日(火)

場 所：全国農業会議所会議室

内 容：令和元年度総会提出議案・9月セミナーについて など

(2) 第1回理事会

日 時：令和元年6月26日(水)

場 所：A P浜松町

内 容：総会議案について など

(3) 第2回正副会長会議

日 時：令和元年8月26日(月)

場 所：全国農業会議所会議室

内 容：9月セミナー・今後の事業計画について など

(4) 第3回正副会長会議

日 時：令和元年 11 月 14 日(水)

場 所：全国農業会議所会議室

内 容：今後のスケジュールについて・台風被害について・12月セミナー
について など

(5) 拡大正副会長会議

日 時：令和2年1月29日(水)

場 所：CIVI 研修センター日本橋

内 容：令和2年度活動計画・3月セミナーについて など

(6) 第4回正副会長会議

日 時：令和2年3月24日(火)

場 所：A P 浜松町

内 容：新型コロナウイルスの状況・令和2年度活動計画について など

3) 青年部活動

(1) 青年部現地研修会

日 時：令和元年 11 月 8 日(金)

場 所：愛知県

参加者：15名

内 容：「全鶏会議の先輩に学ぶ」市田会長の講演・(株)デイリーファーム
視察

4) 情報活動

「全鶏FAXつうしん」を中心とした情報提供 28回

※希望者にPDFファイルでメール、FAX送信した。

5) 研究・調査活動

(1) 飼料価格実態調査(計3回実施)

令和元年7月改定分、10月改定分、2年1月改定分

(2) 卵の需給状況調査

平成31年4月～令和2年3月（計12回実施）

(3) 台風15号等の自然災害に関するアンケート（当該地域会員向け）

(4) 新型コロナウイルスに関するアンケート（全会員向け）

6) セミナー・研究会等の開催

(1) 6月セミナー

日 時：令和元年6月26日（水）

場 所：A P 浜松町 C ルーム

参加者：49名

内 容：

<飼料セミナー>

「飼料主原料の最新動向」

兼松株式会社 穀物部主原料課 課長補佐 尾上 翔太 氏

「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役営業部長 高杉 庄太郎 氏

<ワクモ対策セミナー>

エランコジャパン株式会社 農場衛生製品リーダー 山本 喜康 氏

住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社

アニマルヘルス営業部 グループリーダー 石井 晋 氏

(2) 9月セミナー

日 時：令和元年9月24日（火）

場 所：A P 浜松町 C ルーム

参加者：40名

内 容：

<飼料セミナー>

「飼料価格の最新動向」

兼松株式会社 穀物課課長補佐 尾上 翔太 氏

「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役本部長 高杉 庄太郎 氏

<労務管理対策セミナー>

弁護士法人四谷麴町法律事務所 代表弁護士 藤田 進太郎 氏

<制度資金活用セミナー>

株式会社日本政策金融公庫 農林水産部

営業支援グループ 上席グループリーダー 犬田 剛 氏

(3) 12月セミナー

日 時：令和元年12月11日(水)

場 所：AP浜松町Aルーム

参加者：46名

内 容：

<飼料セミナー>

「飼料価格の最新動向」

兼松株式会社 穀物課課長補佐 尾上 翔太 氏

「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役本部長 高杉 庄太郎 氏

<災害対策セミナー>

農林水産省生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 赤松 大暢 氏

独立行政法人農畜産業振興機構 酪農乳業部

酪農振興課 課長 井上 裕之 氏

今野 恵太 氏

デンヨー株式会社販売促進部 非常用発電機課 佐藤 正英 氏

(4) 養鶏分科会(全国農業経営者協会)

日 時：令和2年1月29日(水)

場 所：CIVI研修センター日本橋

参加者：28名

内 容：

「日米欧生産者の盛衰から学ぶ採卵養鶏産業というもの

～テーマ：勝負の分かれ目～」

養鶏経営コンサルタント 高田 雄詳 氏

(5) 3月セミナー

日 時：令和2年3月24日（火）

場 所：A P 浜松町

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

※飼料情報はFAX 通信にて発信

7) 各種団体との検討会

- (1) 一般社団法人日本養鶏協会・日本鶏卵生産者協会、鶏卵輸出準備分科会などとの各種打ち合わせ
- (2) 株式会社ゼンケイとの意見交換、情報交換を開催
- (3) 農林水産省に「台風 15 号等の被害に関する緊急要請」を実施。（10月1日）